

ふらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 174

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 東京の戦災地図はないか。

答) ◇「東京都 戦災 地図」をキーワードとして全資料で検索。

【図書】 → 【ことば】 → 【東京都 戦災 地図】 (18件該当)

18件の内、3件の図書をピックアップしてご紹介します。

『東京都戦災誌』(210.75/To46 閉架) 「焼失区域図」3枚付属 1953年出版

→昭和28年に東京都がまとめた行政文献資料、詳細な調査による膨大な「戦災日誌」。
大型サイズのカラー地図が3枚付属しています。

『コンサイス東京都35區區分地圖帖』(213.6/To46 閉架) 1985年出版

→ハンディサイズでコンパクトながら見やすくまとめられています。

『地図で読む東京大空襲』(213.6/Ki24 閉架) 2014年出版

→著者が実体験を踏まえながらさまざまな地図・図版で東京大空襲を振り返っています。
戦災地図がかなり縮小して掲載されています。

◇ その他のキーワードで検索した類似資料

【図書】 → 【タイトル】 → 【戦災地図】 (1件該当)

【図書】 『日本都市戦災地図』(210.75/D18 閉架)(地図11枚 袋入) 1985年出版

→東京だけでなく、全国主要都市の戦災地図を見ることができる大型本。

【全資料】 → 【東京都 焼失区域図】 (3件該当)

【絵画】 『東京都区部焼失区域図』2005年出版

→検索端末の画面上で焼失地図を見ることができます。

当館7、6階展示室では2015年1月20日のリニューアルオープン後、タッチパネルで戦災地図を拡大して見るできるようになります。

また、国立公文書館のホームページでは、全国主要都市戦災概況図が公開されています。





江戸川乱歩

～生誕120年から、没後50年へ～

古びた洋館、うす暗い地下室、不気味な洞窟…といえば、変装の名人・怪人二十面相と名探偵・明智小五郎、そして小林少年と少年探偵団が登場する、江戸川乱歩の「少年探偵団シリーズ」ですね。



怖いけれど、どうも続きが気になって読み進めてしまい、夜中にトイレに行けなくなった…という思い出のある方も少なくないでしょう。

1894（明治27）年生まれの乱歩にとって、2014年は「生誕120年」にあたり、現代のミステリー作家たちが「少年探偵団」シリーズのオマージュ作品を刊行するなど、話題になりました。

さらに2015年は、1965（昭和40）年に没した乱歩の「没後50年」にあたります。

昭和館図書室にも、乱歩の作品が掲載された雑誌がたくさんあります。

新しくなった検索システムを使って、いろいろな時代の乱歩を探してみてください。

～ 乱歩作品掲載誌の一例です ～

【戦前の乱歩】

「妖怪博士」：『少年倶楽部』1938年1月～同年12月
(閉架 051/Sh96/25-1～25-14)

【戦中の乱歩】

「偉大なる夢」：『日の出』1943年11月～1944年12月
(閉架 051/H61/12-11～13-12)

【戦後の乱歩】

「探偵小説三十年」：『新青年』1949年10月～1950年7月
(閉架 051/Sh69/30-9～31-7)

— 図書室から —

12月23日まで、写真展「昭和の東京をたずねる」を、2階ひろば／5階映像・音響室前で開催しています。どうぞご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 174

2014年12月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1